

行政調査報告書「総務企画常任委員会」

令和4年7月19日～21日

■栃木県小山市 『小山市役所新庁舎建設について』

当初は耐震補強を考えていたが、熊本地震を教訓に建て替えの検討を開始した。庁舎移転は行わず、現在地での建て替えを行ったが、それには、市民や学識経験者の意見が反映されている。

職員の事務スペースは、全てフリーアドレスを導入しており、無駄の排除など働き方改革にも寄与していた。庁舎を新築したことで、新規採用職員の応募が前年より約100名増えたという効果があった。

本市の新庁舎建設の際に参考としたいところが多くある調査となった。



■埼玉県春日部市 『春日部市シティセールスについて』

厳しい財政状況や地域への愛着低下、人口減少などの課題を解決するため、シティセールスを始めた。春日部に興味を持ってもらう手段として、「クレヨンしんちゃん」を活用した



「春日部マガジン」を発行してパブリシティの強化を図っている。市内外に向けたセールスツールとしてキャラクターの効用を最大限引き出していた。

本市においても、シティセールスとしてまだまだ売り込む材料はあると感じた。

■三井不動産株式会社（千葉県船橋市） 『千葉ジェッツ新アリーナ建設について』

Bリーグ1部に所属する「千葉ジェッツふなばし」のホームアリーナであり、コンサート、企業の展示会などの様々なイベントに対応可能である。開業は2024年春の予定で、最寄り駅は2駅あり、ららぽーとも隣接している。ららぽーとは、イベント開催前後の時間消費やイベントと連動したプロモーションの場としての活用が期待できる。

本市に建設されるアリーナにおいては、バスケットボールファン以外の人々にも広く活用いただき、三河安城駅周辺地域の活性化につなげたい。